



解説

1. β₂mミクログロブリン (β₂m) C末端がunfoldした構造ヴァリアント92-99β₂mはアミロイド化のkey moleculeとされている.
2. 透析患者血中では92-99β₂mが測定される.
3. その濃度は約0.8μg/mLで、キャピラリー電気泳動で確認される中間体β₂mの1/3から1/4であった.
4. したがって中間体β₂mの約7割はC末端がまだ完全にunfoldしていない不完全型ヴァリアント (forme fruste)と考えられる.